

2. 整備事業

I 産地競争力の強化に向けた取組用

(群馬県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前 22年度	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
邑楽町	邑楽館林農業協同組合	耕種作物共同利用施設整備(米麦)	生産量の回復	米656t 麦1,587t	米775t 麦1,436t	米758t 麦1,633t	米952t 麦1,847t	米656t 麦1,587t	米145% 麦116% 130%	震災前の生産量に回復した	乾燥調整施設(被災前の現況に復旧するための建物及び乾燥機器の修繕)	5,796,000	2,500,000			3,296,000	平成23年6月3日	震災前の水準に回復し、生産者の生産意欲を押し上げることができた。	震災前の機能を回復し、取扱量は従前を上回っており、十分な事業効果があったと考えられる。	H23 事業
前橋市	前橋市有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 飼料作物、果樹 イノシシ、シカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	1,618,000	-	2,509,000	2,217,000	1,084,000	-112%	農作物被害の軽減	直営施工、 金網柵、 725m	1,668,000	1,667,000		1,000		平成24年12月28日	柵を設置した方向からの侵入防止が図れたが、柵の切れ目からの鳥獣の侵入があるため、継続した対策が必要である。	侵入防止柵が途切れる場所から鳥獣の侵入が見られるので、継続して地域の合意形成を進め、柵設置や捕獲等に取り組む必要がある。	H23 明許 繰越
高崎市	高崎市鳥獣被害対策協議会	鳥獣被害防止施設 梨、プラム、桃 イノシシ、シカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	1,831,000	-	0	0	1,227,000	303%	農作物被害の軽減	直営施工、 電気柵5段、 8,300m	5,364,555	5,357,000		7,555		平成24年9月24日	大型獣、小型獣に対応する電気柵を設置することで、ほ場への加害獣の侵入を防ぎ、食害を防止した。	侵入防止柵の設置により被害が減少している。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越
藤岡市	藤岡市有害鳥獣被害防止対策協議会	鳥獣被害防止施設 野菜 イノシシ、 ハクビシン	野生鳥獣による農作物被害の低減	1,049,000	-	404,000	160,000	745,000	292%	農作物被害の軽減	直営施工、 電気柵4段、 1,231m	450,840	450,000		840		平成24年12月19日	侵入防止柵を設置した箇所においては、農作物被害がほぼなくなり、全体としても被害額が大幅に減少した。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越
上野村	上野村有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 野菜 イノシシ、 シカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	450,000	-	47,000	16,000	300,000	289%	農作物被害の軽減	直営施工、 電気柵5段、 795m 追加2段 200m	500,000	500,000				平成24年12月31日	被害額は、目標年度において5%に軽減された。電気柵設置による効果が大い。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越

(群馬県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				被災前 22年度	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
神流町	神流町有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 野菜全般 シカ、イノシシ	野生鳥獣による農作物被害の低減	1,600,000	-	1,447,000	1,223,000	1,140,000	82%	農作物被害の軽減	直営施工、 金網柵、 700m	1,236,816	1,236,816					平成24年12月31日	侵入防止柵を設置した地域では侵入を防ぐことができたが、他の場所からシカが侵入して被害が出ている。	山間部の農地など侵入防止柵の設置が困難な地域もあるので、被害防除や捕獲など総合的な対策を実施して被害軽減を図る必要がある。	H23 明許 繰越
中之条町	中之条町有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 花いんげん、トウモロコシ イノシシ、クマ、サル、カモシカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	36,220,000	-	36,712,000	23,929,000	26,082,000	121%	農作物被害の軽減	直営施工、 電気柵7段、 300m 直営施工、 金網柵+電気柵3段、480m	2,119,205	2,100,000			19,205	平成24年12月10日	事業を実施したことにより、被害を削減することができた。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越	
嬭恋村	嬭恋村有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 キャベツ、 パレイシヨ イノシシ、 シカ、カモシカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	448,000,000	-	296,976,000	251,710,000	322,710,000	157%	農作物被害の軽減	直営施工、 電気柵4段、 8,600m 直営施工、 電気柵3段、 1,260m	3,000,900	3,000,000			900	平成24年12月27日	事業を実施し、野生鳥獣による農作物被害を計画目標以上に削減することができた。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越	
高山村	高山村有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 稲、野菜、 ソバ イノシシ	野生鳥獣による農作物被害の低減	4,800,000	-	1,475,000	2,143,000	3,466,000	199%	農作物被害の軽減	直営施工、 電気柵3段、 700m	273,472	273,000			472	平成24年12月10日	事業を実施することにより、農作物被害を削減し、計画目標値を達成することができた。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越	
沼田市	沼田市鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 稲、野菜、 果樹 イノシシ、 シカ等	野生鳥獣による農作物被害の低減	47,380,000	-	20,646,000	13,843,000	27,480,000	169%	農作物被害の軽減	直営施工、 電気柵8段、 410m 直営施工、 電気柵6段、 2,400m 直営施工、 電気柵5段、	13,491,506	13,490,000			1,506	平成24年11月20日	電気柵を広域的に設置することにより、農作物被害が低減された。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越	
片品村	片品村	鳥獣被害防止施設 稲、野菜 イノシシ、 シカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	11,340,000	-	5,410,000	2,900,000	6,580,000	177%	農作物被害の軽減	請負施工、 金網柵、 1,790m	31,006,500	17,050,000		13,956,500		平成24年12月26日	電気柵を設置したことにより、農作物被害が軽減した。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越	

(群馬県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				被災前 22年度	1年後(平 成23年)	2年後(平 成24年)	3年後(平 成25年)	目標値(平 成25年)	達成率				交付金	都道府 県費	市町 村費	その他				
川場村	川場村鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 稲、野菜、果樹 サル、イノシシ、シカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	1,800,000	-	114,000	1,849,000	1,044,000	-6%	農作物被害の軽減	直営施工、電気柵3段追加、5,050m 直営施工、電気柵7段、2,137m	2,800,000	2,800,000				平成24年12月28日	電気柵設置により鳥獣の侵入を防いでいるが、サル等の侵入もあり、被害が発生している。	侵入防止柵の管理体制の構築や捕獲を含めた総合的な対策を行い、被害を軽減する必要がある。	H23 明許 繰越
昭和村	昭和村	鳥獣被害防止施設 こんにゃく、野菜 シカ、イノシシ	野生鳥獣による農作物被害の低減	13,194,000	-	7,183,000	6,130,000	8,840,000	162%	農作物被害の軽減	請負施工、金網柵、8,902m	46,147,500	23,000,000		23,147,500		平成25年3月1日	侵入防止柵の設置により、シカ、イノシシの侵入が防止され、農作物被害が軽減した。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越
みなかみ町	みなかみ町有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 稲、野菜 イノシシ、サル、シカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	24,418,000	-	7,171,000	7,070,000	8,250,000	107%	農作物被害の軽減	直営施工、電気柵3段、12,040m 直営施工、電気柵5段、3,360m 直営施工、金網柵、1,350m	7,000,000	7,000,000				平成25年3月15日	侵入防止柵の設置の効果により、農作物被害の低減を図ることができた。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 明許 繰越
太田市	太田市有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 水稻、野菜 イノシシ	野生鳥獣による農作物被害の低減	6,850,000	-	8,194,000	7,234,000	4,590,000	-17%	農作物被害の軽減	請負施工、金網柵、1,300m	9,996,000	4,998,000		4,998,000		平成25年2月14日	侵入防止柵を設置した地区では、被害は軽減しているが、設置できない地域にイノシシ等が出没するようになったため、被害が増加している。	侵入防止柵の設置の他、捕獲や緩衝帯整備等にも取り組んでいるが、対策を上回るスピードでイノシシ等が増加している。今後も、侵入防止柵の設置や捕獲などを組み合わせた総合的な対策を進める必要がある。	H23 明許 繰越
嬭恋村	嬭恋村有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 キャベツ、パレイシヨ イノシシ、ニホンカモシカ	野生鳥獣による農作物被害の低減	448,200,000	-	296,976,000	251,710,000	322,710,000	157%	農作物被害の軽減	直営施工、金網柵、1,050m	2,321,582	2,300,000			21,582	平成25年3月29日	事業を実施し、野生鳥獣による農作物被害を計画目標以上に削減することができた。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 第1 号補 正
沼田市	沼田市鳥獣対策協議会	鳥獣被害防止施設 水稻、えだまめ、コン ニャク、ダイコン、ブ ドウ、プラム等 イノシシ、ニホンジ カ、ニホンザル、ハク ビシン、ツキノワグマ	野生鳥獣による農作物被害の低減	47,370,000	-	20,646,000	13,843,000	27,480,000	169%	農作物被害の軽減	直営施工、電気柵6段、1,700m 直営施工、電気柵5段、1,880m 直営施工、電気柵4段、23,800m 直営施工、電気柵3段、3,840m 直営施工、金網柵、600m	11,137,352	11,084,000			53,352	平成24年12月26日	電気柵を広域的に設置することにより、農作物被害が低減された。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 第1 号補 正

(群馬県 平成26年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				被災前 22年度	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
片品村	片品村有害鳥獣被害防止対策協議会	鳥獣被害防止施設 ダイコン、大豆、トウモロコシ、水稲、リンゴ ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル	野生鳥獣による農作物被害の低減	11,340,000	-	5,410,000	2,900,000	6,580,000	177%	農作物被害の軽減	直営施工、電気柵5段、16,000m	8,320,000	8,320,000					平成24年12月14日	電気柵を設置したことにより、農作物被害が軽減した。	侵入防止柵の設置により被害軽減が見られている。今後継続して、適切管理を行う必要がある。	H23 第1号 補正

都道府県平均達成率	142%	乾燥調整施設の復旧については、目標を達成することができた。 鳥獣被害対策については、鳥獣の侵入防止柵の設置により、県全体として被害軽減の効果が見られている。今後継続して侵入防止柵の適正管理を進めるとともに、捕獲を含めた総合的な対策を推進していく必要がある。
-----------	------	---